

J TRUST LETTER

第41期 株主通信

2016年4月1日～2017年3月31日

証券コード：8508



企業データ (2017年3月31日現在)

会社の概要

商号	Jトラスト株式会社
資本金	536億30百万円
設立	1977年3月
本社所在地	〒105-0001 東京都港区虎ノ門1丁目7番12号 虎ノ門ファーストガーデン
電話番号	03-4330-9100(代表)
事業内容	ホールディング業務
連結従業員	2,751名

役員 (2017年6月28日現在)

代表取締役社長 最高執行役員	藤澤 信義
代表取締役専務 執行役員 韓国金融事業担当 兼 広報・IR部門担当	千葉 信育
専務取締役 執行役員 グローバルバンキング推進担当 兼 海外法務担当	足立 伸
常務取締役 執行役員 東南アジア事業担当 兼 企画部門担当	浅野 樹美
常務取締役 執行役員 内部統制・監査室長 兼 ホールディング業務担当 兼 グループ統括担当 兼 システム担当	明 珍 徹
取締役 執行役員 経理部長	常 陸 泰 司
取締役 執行役員 経営企画部長 特命担当	黒 川 真
取締役 執行役員 経営企画部長 兼 法務部門担当	西 川 幸 宏
取締役 執行役員 経営管理部長	飯 森 義 英
取締役 執行役員 財務部長	熱 田 龍 一
取締役(社外)	五十嵐 紀 男
取締役(社外)	水 田 龍 二
取締役(社外)	金 子 正 憲
常勤監査役(社外)	山 根 秀 樹
常勤監査役	井 口 文 雄
監査役	井 上 允 人
監査役(社外)	小 島 高 明

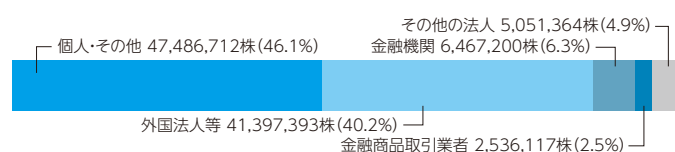
株式の状況

発行可能株式総数	240,000,000株
発行済株式の総数	112,536,970株
株主数	19,541名

大株主 (上位10名)

株主名	株式数(株)	持株比率(%)
藤澤 信義	23,009,372	22.4
FUJISAWA PTE. LTD.	15,697,872	15.2
TAIYO HANEI FUND, L.P.	4,517,900	4.4
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505019	4,352,100	4.2
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,901,200	2.8
西京リース株式会社	2,890,000	2.8
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	2,410,790	2.3
TAIYO FUND, L.P.	1,917,700	1.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口9)	1,804,200	1.8
CBNY-ORBIS SICAV	1,539,915	1.5

所有者別株式分布状況



(注) 持株比率ならびに所有者別株式分布状況は、自己株式数(9,598,184株)を控除して算出しております。

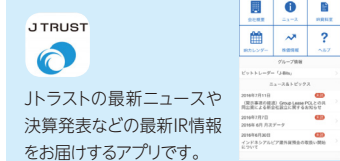
株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月開催
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711 (通話料無料)
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所
公告方法	電子公告とし、当社ウェブサイト(http://www.jt-corp.co.jp/)に掲載いたします。なお、事故その他やむを得ない事由により、電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

- 【ご注意】
- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求、買増請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
 - 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次いたします。
 - 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店で支払いいたします。

JトラストIRアプリを利用して

IR情報を素早く入手!



Jトラストの最新ニュースや決算発表などの最新IR情報をお届けするアプリです。

公式Facebookページを開設!

日本だけでなく、韓国や東南アジアのグループ会社の様々な情報をお届けしています。



UD FONT
見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



株主の皆様へ

収益拡大に向けた基礎固めは完了し、持続的かつ大きな成長へ再スタートを切ります



代表取締役社長 藤澤 信義

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2017年3月期は57億円の営業損失となりましたが、その主な要因はJトラスト銀行インドネシア(BJI)において貸倒引当金46億円の積み増しを行ったことと、Jトラストアジアが保有しているグループリース社(タイ証券取引所上場、GL)の転換社債の新株予約権部分について評価損31億円を計上したことです。これらは会計上の損失であり、実質的なキャッシュアウトを伴うものではありませんので、私は心配していません。営業利益については足踏み状態が3年間続きましたが、主要事業において持続的に大きく成長していくための基礎固めは完了したものと考えています。

2018年3月期は、営業利益100億円の達成、国際財務報告基準(IFRS)の任意適用および東証1部への指定替えの3つを目標としています。営業利益については100億円を予想していますが、これは保守的な数字であり、過去最高益137億円を上回ることも視野に入れています。IFRSの任意適用については、積極的にM&Aを実施できるようになるなどメリットは多く、第1四半期からの適用を予定しています。東証1部への指定替えについては、海外事業会社が多く時間がかかっていますが、重点事項として取り組んでおり、今期中の実現を目指しています。

2018年3月期にはこれら3つの目標を達成することにより、持続的かつ大きな成長へ向けて再スタートを切りたいと考えていますので、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

株主還元について

当社は、株主の皆様に対する適正な利益還元を経営の最重要施策のひとつと認識し、安定配当を基本としながらも、長期的には増配を続けています。また、資本効率の向上を通じた株主の皆様への利益還元を図るため、機動的な自己株式の取得を行っています。さらに、2017年3月期に当社として初めての株主優待を実施いたします。2017年3月末時点において300株以上保有の株主様を対象に、5,000ポイント分の楽天ポイントギフトコード*を設立40周年記念株主優待として贈呈いたします。

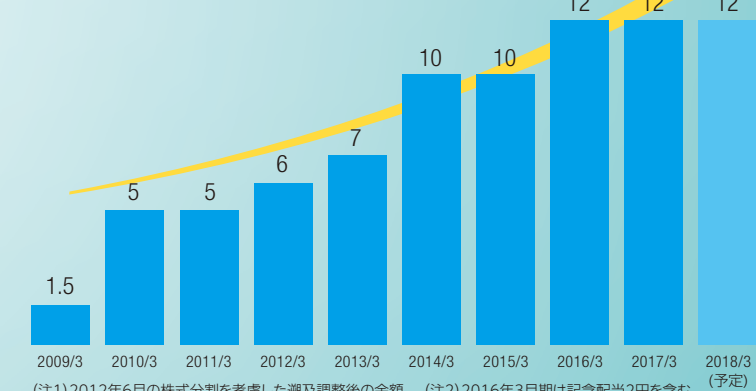


優待券面

*楽天スーパーポイントを獲得するための16桁のコードです。本コードにより獲得したポイントは、楽天グループが運営する「楽天市場」「楽天ブックス」「楽天トラベル」などのサービスにおいて、1ポイント1円として使えます。

1株当たり配当金の推移

(単位：円)



(注1) 2012年6月の株式分割を考慮した適及調整後の金額 (注2) 2016年3月期は記念配当2円を含む (予定)

既成概念にとらわれない ファイナンスサービスを展開します。

Jトラストグループは、日本で構築したビジネスモデルを海外展開することで、アジアの総合ファイナンスグループへと成長を遂げてきました。今後も、国内金融事業を基盤に、アジア諸国において銀行の買収・再生・健全化を通じて、お客様に喜ばれる地域密着型の銀行経営に取り組んでいきます。

持続的に成長することで
収益に貢献します。

国内金融事業

保証業務と債権回収業務に注力

日本のノウハウを活かして再生を加速

日本のノウハウを活かして収益基盤を確立

投資事業

事業のシナジー性や商品力等を総合的に判断し、投資先を選定

第3の収益の柱として
成長を促進します。

東南アジア金融事業

経営陣の刷新、店舗や人員の最適化により再生を加速

第2の収益の柱として
さらなる成長を目指します。

韓国金融事業

確立した事業基盤を有機的に連携することで収益を拡大

韓国での銀行再生経験を
インドネシアへ

非金融事業

総合エンターテインメント事業と不動産事業等を展開

TOPICS

リバースモーゲージ型不動産担保カードローン保証業務開始

高齢者世帯の増加とともに、リバースモーゲージ型商品[®]の潜在需要が高まっています。日本保証では、新たな収益機会を獲得することを目的に、リバースモーゲージ型不動産担保カードローン保証業務を開始しました。

※持ち家を手放すことなく、その資産価値を活かしてお金を借りることのできるローンです。



TOPICS

JT親愛貯蓄銀行が2年連続でファーストブランド大賞を受賞

JT親愛貯蓄銀行は、韓国消費者フォーラムが主催する「2017大韓民国ファーストブランド大賞」の貯蓄銀行部門において2年連続で大賞を受賞。JT親愛貯蓄銀行が消費者から高い評価を得ていることが示されました。



TOPICS

GLFIを通じた貸出額が順調に増加

GLを戦略的パートナーとして共同で設立したグループリースファイナンスインドネシア(GLFI)は、24のPOS(Point of sales、2017年4月現在)を設置し、農機具のファイナンス事業を推進。GLFIを通じたBJIの貸出額が順調に増加しています。



TOPICS

Jトラスト銀行インドネシアの新支店がオープン予定

BJIではジャカルタなどの重複店舗を18店削減しましたが、今後は攻めに転じ、地方主要都市における新店舗の開設やマスマーケティングにより新規顧客獲得に努めます。



TOPICS

Jトラスト銀行インドネシアの経営体制を刷新

2016年12月に安藤律男(写真:中央)が社長に就任、経営陣を大幅刷新しました。インドネシアの金融業界に強固なネットワークを持つ安藤のもと、さらなる成長を目指します。



TOPICS

アドアーズがVRエンターテインメント施設「VR PARK TOKYO」をオープン

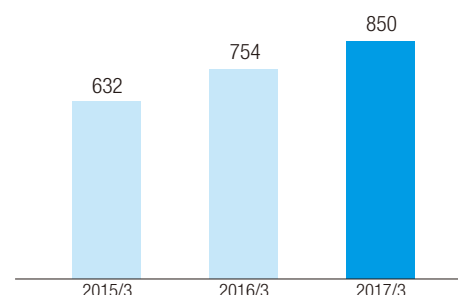
アドアーズは、専用の機器を装着することで、仮想現実の世界にあたかも入り込んだような体験ができるVR常設型エンターテインメント施設を渋谷にオープンしました。



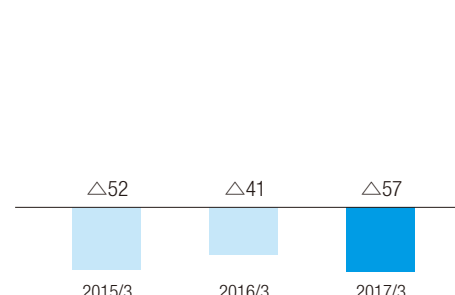
業績ハイライト

営業収益はインドネシア子会社2社について連結上の期ずれを解消し15カ月決算としたことや韓国の貯蓄銀行における新規貸付残高の増加等から前期比13%の増収。ただし、保有しているGL転換社債の新株予約権部分についての評価損計上やBJIにおける貸倒引当金の大幅な積み増し等から57億円の営業損失となり、さらにBJIの事業構造改善費用の計上もあり98億円の親会社株主に帰属する当期純損失となった。

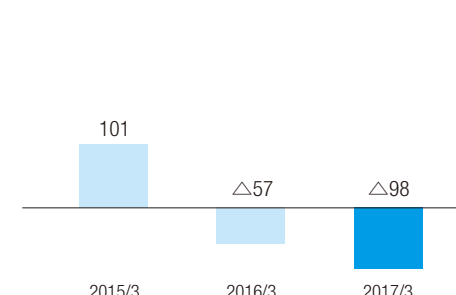
営業収益
(単位: 億円)



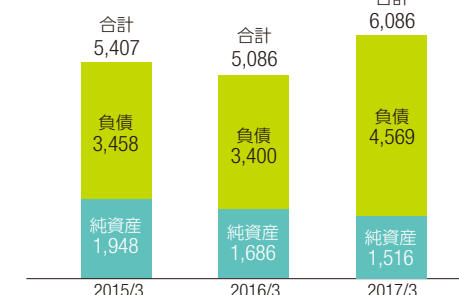
営業損益
(単位: 億円)



親会社株主に帰属する当期純損益
(単位: 億円)



負債純資産合計
(単位: 億円)



営業収益構成比
(単位: %)

